

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和5年 11 月 21 日 (木) 19 時～
会	場	白山公民館
出席議員		近藤光広、川崎悟司、桶谷耕一、能勢淳一郎、小玉俊一、安立里美
参加者(市民)		15 名
開会挨拶・司会・記録		司 会: 近藤光広 議会報告: 川崎悟司 記 録: 能勢淳一郎
【1部】 定例会概要報告等 (報告者)川崎悟司		Q: なし
【1部】 議員報酬について (報告者)桶谷耕一		Q: 議員報酬はどれくらいのアップを考えているか。 A: まだこれからの議論である。 Q: 議員報酬の上げ幅によってはストレートに若者参入増にはならないのではないか。 A: もちろん 1 つの方法でありこれが全てではない。 Q: 政務活動費を拡充してはどうか。 A: いろんな考え方があがるが、多角的にとらえてやっていきたい。
【2部】 意見交換会 (1班) 進行: 川崎悟司 記録: 近藤光広		Q: 鯖江市はDX等も商業に取り込んできており、越前市に比べると進んでいる。 A: 鯖江商工会議所事務局長が先進的な取り組みを手掛けており、鯖江市は先進地となっている。 Q: 鯖江は、中小企業の会社が元気を出しているのが目立つ。越前市は大企業中心といった雰囲気がある。 A: 越前市は産官学の産が弱いと思っている。 Q: 議員が、地元のことを考えて折角これだけのことをしていてもアピール不足で伝わってこないことが多い。 A: アピールするのが下手な部分はあるかもしれない。 Q: 議員が作った今の議員報酬の問題で、なぜ立候補者が増えないのでしょうかといった市民アンケートに基づいた形の結果の提案ではないので、議員立候補者が増えるとは思えない。 A: それだけではないと思うが、報酬の問題も一つの条件としてある。若い人に議員になってほしいという思いがある。 Q: 村部の里地里山をしっかりと守ることに森林環境譲与税を使ってほしい。大胆

な施策を村部にしないと、山は守り切れない。人口減少の中村部に委ねられても限界の状態の中、大胆な譲与税の方針が見えてこない。

A: 現在、市も用途を選定しているところである。用途の提案をしてみるとよいと思う。

Q: 作業道の維持管理補修費も森林環境譲与税で出すような方向に進んでいると今日初めて聞くが、行政からの情報がこの例からも全くなく、意思疎通が少なすぎる。方向性なりをある程度早めに市が説明してほしい。森林組合や農協、商工会からも市からの情報が入って地域に出向いてなりの説明もあったが、これもない状況。行政が予算の説明に現地に出向くことがなくなった。もっと現地現場主義を示してほしい。(市民との一体感の欠如を感じる) 広報紙にも補助金の説明ももっとあっていいのではないか。行政との関わりが遠くなってきたと痛切に感じる。

A: 昔は、森林組合や農協、商工会がもっとしっかりしていた。そういったところに行政から情報が流れたがそれがなくなった。

Q: LINE の情報提供も始めたが、まだまだ市民には伝わりづらいと感じる。

A: そういうことを我々もできるだけ伝えていく。

#### 【要望・意見】

- ・ 鯖江で会社を持っていて勤務して交流していると感じるのだが、鯖江市は市議員も若い人が出てきて活性化している。商業も活気がある。越前市は沈滞していると感じている。
- ・ 町屋改修をするにしても、点在していて連なったスポットがない。越前市は、伝統的なまちなので、連なった町屋再生、例えば古民家カフェや職人さんの町屋とかが連なっていれば、観光誘客でも呼び水になるのではないか。
- ・ 議員のイメージは、半分議会で半分は自営業や所属企業での活動でのイメージが強く要望実現のために働いていただけなのか疑問もある。
- ・ 人口の少ない当地などは、森林環境譲与税の予算配分が後回しとなっている。

(2班)

進行: 小玉俊一

記録: 桶谷耕一

Q: 自治振興会は概ねボランティアでやっており、成り手不足の課題がある。

A: 各地区15年程経過しており、当初は無報酬が当たり前という志があった。年数が経過し、集う人も世代交代してきた。振興会の中で、事務局長には報酬を払っている地区もある。報酬だけの問題ではないのではないか。

Q: 地域活動をしたらポイントがもらえるとといった地域通貨があるといい。

A: そういったことを考える過渡期にきているのかもしれない。

Q: 新駅とたけふ駅をつなぐ交通手段を整備してほしい。デマンド交通で車いすの人が使える車両を使ってほしい。

A: デマンド交通はまだ実証実験なので、意見を聞きながらやっていっている段階だ

<p>(3班)  進行:安立里美  記録:能勢淳一郎</p>	<p>と思う。</p> <p>Q:コウノトリの里づくりや有機農業などの情報が入ってこない。  A:周知はJAを通じて行っている。</p> <p>Q:高校通学に不自由している。  A:地域によってその地域に合ったデマンド交通を考えることが大切だと思う。</p> <p>Q:語る会を含め若い人の取り込み策を考えて欲しい。  例えばデジタル化は必須だと思う。</p> <p>A:総合計画は高校生や大学生と意見交換し、作成している。最近の子どもはタブレットやオンラインに慣れているので、デジタルを活用するのは一つの方法としてあると思う。</p> <p>Q:有機農業プロジェクトの内容がわからない。  A:有機農業プロジェクトについて詳しくないが、特別栽培米については、補助金がでていると思う。</p> <p>Q:冠山トンネル、越前市の対応は。  A:鯖江に出遅れた感はある。</p> <p><b>【要望・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地問題で大規模農業に行政の協力が欲しい。</li> <li>・農地を守るために助成が欲しい。</li> <li>・地区内の県道に融雪があるが不完全なので除雪も欲しい。</li> <li>・人口減少で地区の行事ができない。</li> <li>・公民館にソーラーパネルが欲しい。</li> </ul>
--	---

令和5年12月25日 越前市議会議長 殿

第1班 班長 近藤 光広